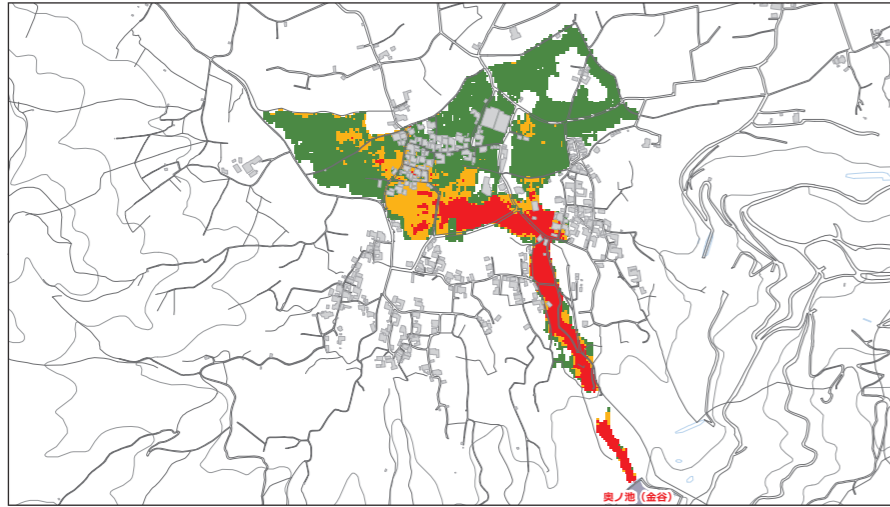


□ はん濫流の中の歩行の危険性

ため池からはん濫流が発生すると、浸水深が浅くても、流速がはやいと、いつも通り、歩くことが困難となる場合もあります。そのため、大雨時や、ため池決壊の前兆現象を確認したら、ため池が決壊する前に避難することを心がけましょう。



【歩行困難度】
左の図は、ため池が決壊した場合の浸水深と流速の関係から、はん濫流が発生した場合の「歩行困難度」を示した図面です。

- 歩行不可能
- 歩行困難
- 歩行可能

□ ため池決壊の前兆現象（こんな現象が発生したら危険）

大雨時

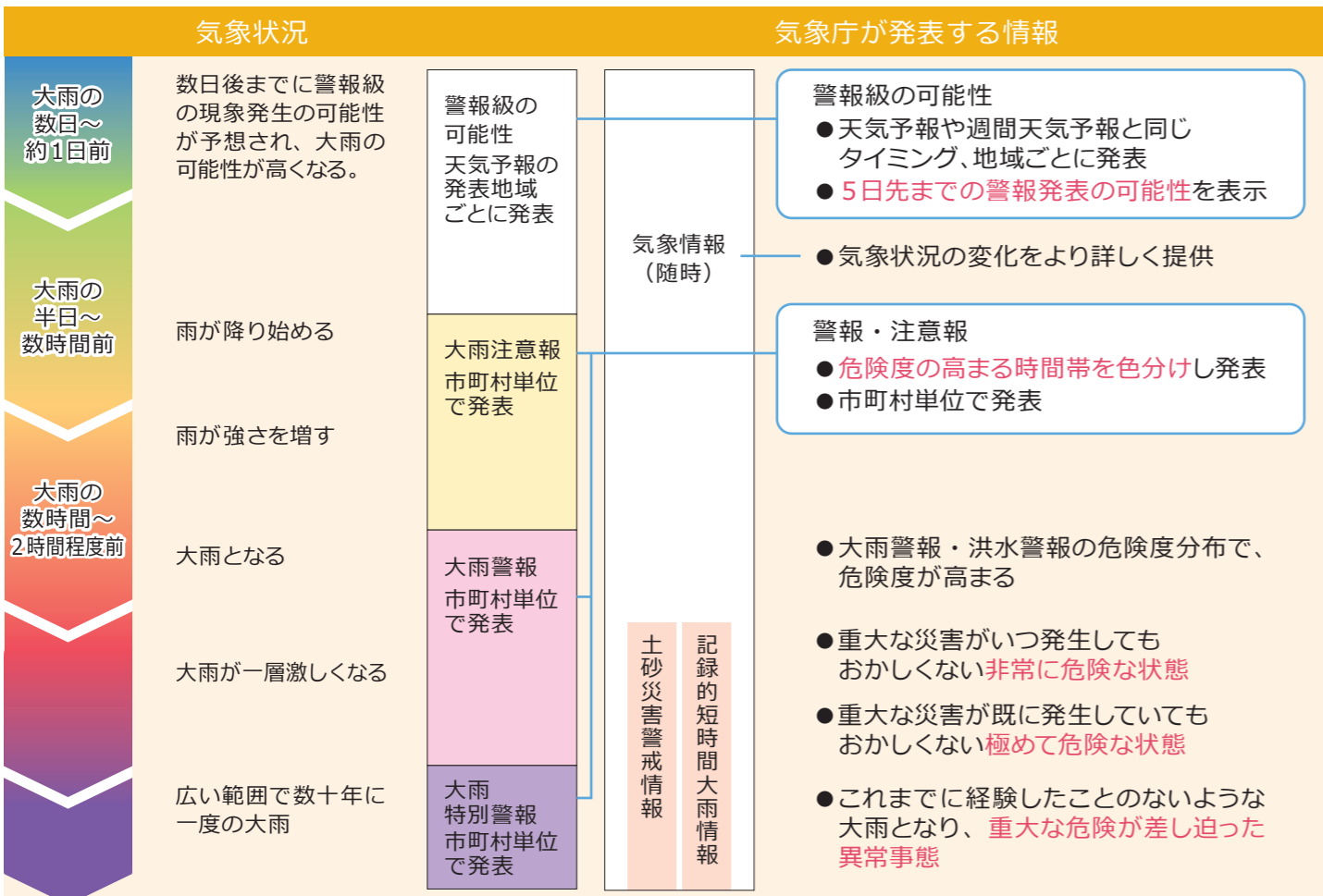
- 急激な水位上昇により、流水が堤体を越えようとする場合
- 漏水が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
- 堤体が陥没し、漏水が生じた場合

地震時（震度4以上）

- 堤体の陥没やひび割れが発生し、急激な漏水量の増加や漏水に濁りが生じた場合

□ 大雨・洪水に関する情報

● 発表する情報と具体的な活用例 —— 大雨の場合



気象庁では気象警報・注意報に関する情報を公開しています ▶ <http://www.jma.go.jp/jp/warn/>



和歌山市ため池ハザードマップ



ハザードマップは、万が一の地震や大雨によってため池が決壊する恐れのある場合の備えとして、自分や家族の命を守るために役立つ情報を提供するものです。また、住民のみなさんがマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上に取り組まれることを目的としています。

□ 緊急時の連絡先

行政機関	和歌山市消防局	073-422-0119	ライフライン	和歌山市企業局	073-435-1124
	和歌山県警察本部	073-423-0110		関西電力(株)電気設備に関するお問合わせ(停電等)	0800-777-3081
	和歌山市耕地課	073-435-1051		西日本旅客鉄道(株)お客様センター	0570-00-2486
	和歌山市総合防災課	073-435-1199		【電話】会社名:	
公共医療機関			【ガス】会社名:		
			その他		

※【電話】・【ガス】は契約会社に確認して記入してください。

□ 災害用伝言ダイヤル(171)

「171」をダイヤルし、ガイダンスに従って伝言の録音・再生をしてください。

災害用伝言ダイヤル(171)は、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間で、伝言の録音・再生をすることができます。

伝言の録音 171 + 1 + 被災地の人の電話番号 (市外局番から) → 録音

伝言の再生 171 + 2 + 被災地の人の電話番号 (市外局番から) → 再生

□ わが家の防災メモ

わが家の避難場所	
家族の集合場所	
緊急時の連絡先	
かかりつけの病院	
非常持ち出し品の一例	
<input type="checkbox"/> ろうそく・マッチ・ライター	<input type="checkbox"/> 貴重品 <input type="checkbox"/> 雨具
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 食料品
<input type="checkbox"/> 救急医薬品	<input type="checkbox"/> 保安具
<input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日3リットルが目安)	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ
<input type="checkbox"/> 衣類・紙おむつ・生理用品	<input type="checkbox"/> 筆記用具



【お問い合わせ先】 和歌山市産業交流局農林水産部耕地課 TEL 073-435-1051

奥ノ池(金谷) ハザードマップ

貯水量：45,000 m³

堤高：11.0m



近くの2階の建物へ避難

1次避難場所：2階

1次避難場所：善楽寺

いざというときは、高台の方へ避難

雨が降るとよはん溢るので注意が必要

奥ノ池(金谷)

凡例

- 避難場所
- 市指定避難所

ため池浸水想定区域（浸水深）

- 0.5m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 2.0m～5.0m未満
- 5m以上

ため池浸水想定区域（到達時間）

- 決壊後5分以内に到達
- 決壊後10分以内に到達
- 決壊後15分以内に到達
- 決壊後30分以内に到達

【マップに掲載する避難場所について】

○一次避難場所について

一次避難場所は、高い場所や浸水域外など、命を守るために避難する場所です。

いざという時には、まず一次避難場所に避難することを考えてみましょう。

0 100 200 400 600 800 1,000

最大流速図

